



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 株式会社エイチワン 上場取引所 東
 コード番号 5989 URL <http://www.h1-co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金田 敦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 太田 清文 (TEL) 048-643-0010
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半 期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	126,093	3.9	△228	—	△69	—	△556	—	769	△38.5	3,225	△21.2
2021年3月期第3四半期	121,413	△11.5	2,227	△43.5	1,821	△45.2	347	△82.9	1,250	△47.5	4,093	64.7
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2022年3月期第3四半期	27.38		27.09									
2021年3月期第3四半期	44.58		44.06									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	184,592	74,856	70,671	38.3	2,513.83
2021年3月期	163,975	72,325	67,285	41.0	2,397.48

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2022年3月期	—	12.00	—		
2022年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	9.8	1,200	△67.9	1,000	△70.8	800	△71.8	28.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	28,392,830株	2021年3月期	28,392,830株
2022年3月期3Q	279,860株	2021年3月期	327,645株
2022年3月期3Q	28,093,777株	2021年3月期3Q	28,060,763株

- (注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2022年3月期第3四半期末 278,300株、2021年3月期末 326,100株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式の期中平均株式数(2022年3月期第3四半期 297,502株、2021年3月期第3四半期 330,539株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しております。世界経済は、ワクチン接種が進展し新規感染者数が減少傾向に移るなかで、先進国を中心に経済活動が段階的に再開されました。日本では、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が9月末に全面的に解除されたことにより、個人消費に持ち直しの動きが見られました。一方、2021年末以降のオミクロン株の流行による感染症再拡大が懸念されるなど、経済活動の完全な再開に向けてはいまだ予断を許さない状況が続いております。

自動車業界においては、世界的な半導体供給不足やアジアからの部品供給の停滞等の影響は解消されておらず、加えて原材料価格の高騰や北米での労務費上昇等により自動車の生産及び販売に係るコストが増加するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような中での当第3四半期連結累計期間の経営成績は、前年同四半期に比べ当社グループの主力得意先向けの自動車フレームの生産量が約14.2%減少したものの、為替相場が前年同四半期に比べ円安水準にあったことなどにより売上収益は1,260億93百万円(前年同四半期比3.9%増)、利益面では労務費などの製造コストの増加により売上総利益は98億10百万円(同17.9%減)となりました。また、販売費及び一般管理費も前年同四半期に対して増加したことから営業損失は2億28百万円(前年同四半期は営業利益22億27百万円)となり、金融損益が改善したものの税引前四半期損失は69百万円(前年同四半期は税引前四半期利益18億21百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は7億69百万円(前年同四半期比38.5%減)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

①日本

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて減少したものの、金型取引の増加や原価低減に努めたことなどから売上収益は325億67百万円(前年同四半期比1.9%増)、税引前四半期利益は12億23百万円(同18.5%増)となりました。

②北米

第1四半期は自動車フレームの生産量が前年同四半期を上回りましたが、第2四半期及び第3四半期(7月～12月)にかけて自動車フレームの生産量が前年同四半期を下回り、売上収益は418億23百万円(前年同四半期比6.1%減)、利益面では、売上収益の減少に加え、製造コストの増加もあり税引前四半期損失は32億50百万円(前年同四半期は税引前四半期損失17億82百万円)となりました。

③中国

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて大きく減少しましたが、為替水準が円安に推移したことから売上収益は429億56百万円(前年同四半期比4.9%増)、利益面では、生産量減少の影響などにより税引前四半期利益は22億54百万円(同47.9%減)となりました。

④アジア・大洋州

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて増加したことなどから売上収益は155億6百万円(前年同四半期比54.8%増)、税引前四半期損失は2億35百万円(前年同四半期は税引前四半期損失17億68百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態は、資産合計が1,845億92百万円(前連結会計年度末比206億17百万円増)となりました。これは主に現金及び現金同等物、営業債権及びその他の債権、棚卸資産、有形固定資産などが増加したことによるものであります。

負債合計は、1,097億36百万円(同180億86百万円増)となりました。これは主に営業債務と借入金が増加したことによるものであります。

資本合計は、748億56百万円(同25億30百万円増)となりました。これは主に為替相場の円安によりその他の資本の構成要素が良化したことによるものであります。親会社の所有者に帰属する持分比率は38.3%(同2.7ポイントのマイナス)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業債権及びその他の債権の増加、棚卸資産の増加、有形固定資産の取得による支出等の資金の減少要因があった一方、減価償却費及び償却費、営業債務の増加、短期借入金の増加等の資金の増加要因によって72億5百万円(前年同四半期比19億31百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ46億2百万円(52.7%)減少の41億36百万円となりました。これは主に、税引前四半期損失の計上や棚卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ44億16百万円(46.3%)増加の139億46百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果稼得した資金は、132億6百万円(前年同四半期は68億3百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね公表済みの計画に沿って推移しており、2021年11月4日公表の業績予想に関して変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,595	7,205
営業債権及びその他の債権	31,631	38,021
棚卸資産	23,512	27,320
その他の金融資産	2,239	1,886
その他の流動資産	2,356	2,830
小計	63,335	77,263
売却目的で保有する非流動資産	2,455	—
流動資産合計	65,791	77,263
非流動資産		
有形固定資産	81,902	89,720
無形資産	1,021	1,045
持分法で会計処理されている投資	6,280	6,753
退職給付に係る資産	2,045	2,533
その他の金融資産	5,862	6,006
繰延税金資産	637	780
その他の非流動資産	433	489
非流動資産合計	98,183	107,329
資産合計	163,975	184,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務	20,092	26,788
借入金	17,465	33,543
未払法人所得税等	564	307
その他の金融負債	4,008	3,923
その他の流動負債	11,189	7,517
流動負債合計	53,320	72,080
非流動負債		
借入金	27,850	27,553
退職給付に係る負債	7,604	6,772
その他の金融負債	1,078	1,235
繰延税金負債	1,382	1,666
その他の非流動負債	414	427
非流動負債合計	38,329	37,656
負債合計	91,649	109,736
資本		
資本金	4,366	4,366
資本剰余金	12,906	12,906
利益剰余金	49,700	49,739
自己株式	△244	△209
その他の資本の構成要素	556	3,867
親会社の所有者に帰属する 持分合計	67,285	70,671
非支配持分	5,039	4,185
資本合計	72,325	74,856
負債及び資本合計	163,975	184,592

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	121,413	126,093
売上原価	△109,457	△116,283
売上総利益	11,955	9,810
販売費及び一般管理費	△10,166	△10,903
その他の収益	565	1,094
その他の費用	△126	△229
営業利益(△は損失)	2,227	△228
金融収益	143	411
金融費用	△570	△424
持分法による投資利益	21	172
税引前四半期利益(△は損失)	1,821	△69
法人所得税費用	△1,473	△487
四半期利益(△は損失)	347	△556
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	1,250	769
非支配持分	△903	△1,325
四半期利益(△は損失)	347	△556
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	44.58	27.38
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	44.06	27.09

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益(△は損失)	347	△556
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	2,407	1,089
資本性金融商品の公正価値測定	429	△87
項目合計	2,836	1,001
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,055	2,455
持分法によるその他の包括利益	△147	324
項目合計	908	2,779
税引後その他の包括利益	3,745	3,781
四半期包括利益合計	4,093	3,225
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	4,441	4,080
非支配持分	△348	△854
四半期包括利益合計	4,093	3,225

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	13,054	47,564	△253	△3,668	△80	△3,036	△6,785
四半期利益	—	—	1,250	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,827	429	933	3,190
四半期包括利益合計	—	—	1,250	—	1,827	429	933	3,190
配当金	—	—	△701	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	8	—	—	—	—
その他の非支配持分の増減	—	△147	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	△0	—	—	0	—	0
所有者との取引額合計	—	△147	△701	8	—	0	—	0
四半期末残高	4,366	12,906	48,113	△244	△1,840	348	△2,103	△3,595

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	57,946	5,326	63,272
四半期利益	1,250	△903	347
その他の包括利益	3,190	555	3,745
四半期包括利益合計	4,441	△348	4,093
配当金	△701	—	△701
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	8	—	8
その他の非支配持分の増減	△147	△310	△457
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	—
所有者との取引額合計	△840	△310	△1,150
四半期末残高	61,546	4,668	66,214

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	12,906	49,700	△244	△1,277	763	1,070	556
四半期利益(△は損失)	—	—	769	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	795	△87	2,603	3,310
四半期包括利益合計	—	—	769	—	795	△87	2,603	3,310
配当金	—	—	△730	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	35	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△730	35	—	—	—	—
四半期末残高	4,366	12,906	49,739	△209	△482	676	3,673	3,867

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	67,285	5,039	72,325
四半期利益(△は損失)	769	△1,325	△556
その他の包括利益	3,310	470	3,781
四半期包括利益合計	4,080	△854	3,225
配当金	△730	—	△730
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	35	—	35
所有者との取引額合計	△694	—	△694
四半期末残高	70,671	4,185	74,856

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	1,821	△69
減価償却費及び償却費	10,529	10,868
金融収益	△130	△184
金融費用	570	421
持分法による投資損益(△は益)	△21	△172
有形固定資産売却損益(△は益)	△67	△746
有形固定資産廃棄損	111	167
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△13,165	△4,831
棚卸資産の増減(△は増加)	△822	△2,891
営業債務の増減(△は減少)	6,084	5,306
退職後給付に係る負債の増減(△は減少)	△900	△623
その他	5,973	△1,877
小計	9,984	5,367
利息の受取額	53	39
配当金の受取額	187	206
利息の支払額	△571	△421
法人所得税の支払額	△915	△1,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,738	4,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,436	△16,480
有形固定資産の売却による収入	183	3,036
無形資産の取得による支出	△40	△49
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△1,957	—
その他の金融資産の取得による支出	—	△65
その他	△278	△387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,530	△13,946
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9,672	14,349
長期借入れによる収入	11,756	11,140
長期借入金の返済による支出	△7,561	△10,751
リース負債の返済による支出	△631	△801
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	8	—
配当金の支払額	△701	△730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,803	13,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	163	213
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,430	3,609
現金及び現金同等物の期首残高	12,704	3,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,273	7,205

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	26,540	44,125	40,798	9,948	121,413	—	121,413
セグメント間の内部売上収益	5,423	417	161	70	6,072	△6,072	—
計	31,963	44,543	40,959	10,019	127,486	△6,072	121,413
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	1,032	△1,782	4,327	△1,768	1,808	12	1,821

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。
2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	26,489	41,475	42,636	15,492	126,093	—	126,093
セグメント間の内部売上収益	6,077	348	319	14	6,760	△6,760	—
計	32,567	41,823	42,956	15,506	132,854	△6,760	126,093
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	1,223	△3,250	2,254	△235	△7	△61	△69

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。
2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。